

県内商工会の活動

県内商工会の事業者に行った指導・支援内容とその成果をご紹介します。

Case Number 01 上小阿仁村商工会

食用ほおずきの販路拡大に向けて

[事業所名 たじゅうろう]

指導内容 上小阿仁村の特産品である食用ほおずきを村でもただ一人、水耕栽培で生産販売を行っている「たじゅうろう鈴木孝明」さんです。支援として近隣市町村の菓子店へほおずきを紹介し販路開拓を行いました。また持続化補助金を活用し加工スペースを造成、ほおずきの加工商品開発によりさらなる販路拡大に向けて邁進しております。

成果 近隣の洋菓子店が食用ほおずきを加工用として納入提携していただくことが決定し、ほおずきタルトケーキとして販売されました。また加工所造成の際は、経営計画策定支援を行い、持続化補助金採択の成果となりました。



代表の鈴木孝明さん

感想 持続化補助金申請の時は、経営計画書を職員さんと二人で何度も話し合い、採択された計画書を作り上げる事ができました。大変ありがたく感謝しております。

Case Number 02 河辺雄和商工会

「チラシ」と「やぐら」で新規顧客獲得

[事業所名 カボチャ]

指導内容 主力商品であるフランスパンの一種「カンパーニュ」の魅力を地域内外に広く知ってもらうため、ターゲットに合わせたチラシの作成と効果的な配布を支援いたしました。また、商品の出来を大きく左右する薪窯の煙突メンテナンス作業の効率を上げることで商品製造、販売活動に専念するための「やぐら」設置についても支援いたしました。

成果 「捨てずにとっておきたくなる」をコンセプトにデザインしたチラシを計画的に配布したことで客数15%UP（うち新規顧客は15%）しました。また、専門家、地元業者と連携しながら設置した「やぐら」により作業効率が大幅UPいたしました。



代表の藤原暁峰さんと藤田経営指導員

感想 戦略的、計画的な販促の大切さとその効果を実感しています。また、専門家や地元業者の架け橋となっただけで専門的な支援を受ける事ができたほか、地元での新たな繋がりができました。



代表の松井幹子さん

Case Number 03 よこて市商工会

「空き家活用」による新たな自然形体療法による新規創業支援

[事業所名 ひまわり自然形体院]

指導内容 平成27年2月に新規開業の相談を受け、県内では3番目、東北でも4番目となる整体業「自然形体療法」に「新規性」があると思われたことから、国の「26創業補助金」申請（申請後採択）の提案をし、申請（事業計画書、収支計画、資金計画）から実績報告までの支援を行いました。

成果 補助金の交付決定が若干遅れたことにより、当初予定していた開業日より約2カ月遅れの「9月7日」にオープン。開業後は、補助金を活用した「広告宣伝」の効果などにより増田町内や近隣市町村からの多くのお客様にご利用いただいております。当初の事業計画どおり順調に推移しています。

感想 商工会へ開業の相談を行ったところ、事業計画や補助金などについてアドバイスをいただき、国の補助制度を活用しオープンすることができました。これからは、経営についての助言を頂きながら、「スポーツ障害」や「肩」・「腰」・「膝」など様々な痛みに苦しんでいる方のお役に立てるよう優しい施術をしていきたいと思います。

